

基調講演「エコチル調査の5年間」

集計結果の紹介



国立研究開発法人国立成育医療研究センター
エコチル調査メディカルサポートセンター特任部長
生体防御系内科部アレルギー科医長

大矢 幸弘

様々な仮説

要因

子どもの健康

○化学物質の曝露

ダイオキシン類、PCB
水銀、鉛、ヒ素、カドミウム
内分泌かく乱物質、
農薬など

○遺伝要因

○社会要因

○生活習慣要因

○身体発育

出生時体重低下、等

○先天奇形

尿道下裂、停留精巣、等

○性分化の異常

性比、等

○精神神経発達障害

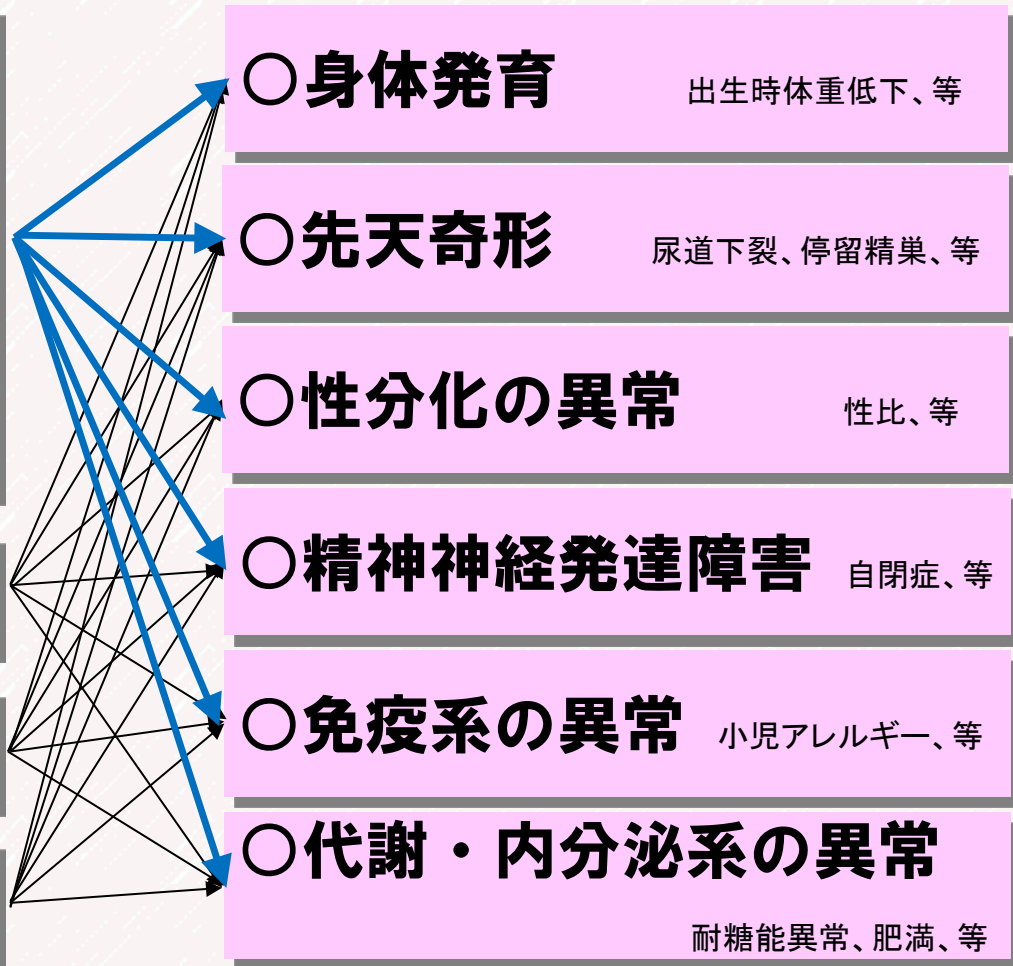
自閉症、等

○免疫系の異常

小児アレルギー、等

○代謝・内分泌系の異常

耐糖能異常、肥満、等



様々な仮説

要因

子どもの健康

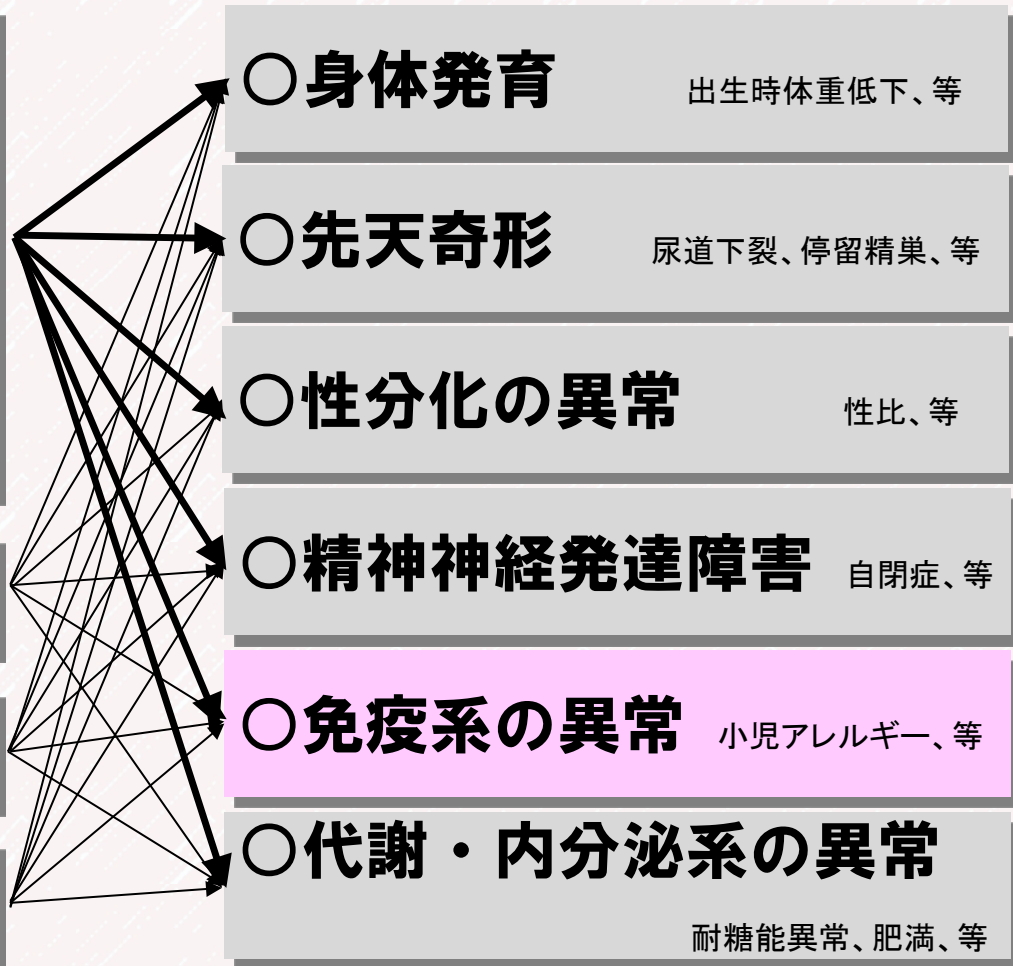
○化学物質の曝露

ダイオキシン類、PCB
水銀、鉛、ヒ素、カドミウム
内分泌かく乱物質、
農薬など

○遺伝要因

○社会要因

○生活習慣要因



免疫系の異常は本当に起こっているの？

ぜん息

アトピー性皮膚炎

花粉症

エコチル調査の特長

- ◆ 多くの環境要因を考慮する。
- ◆ 同一人を追跡することで、変化を観察できる。
(縦断調査)

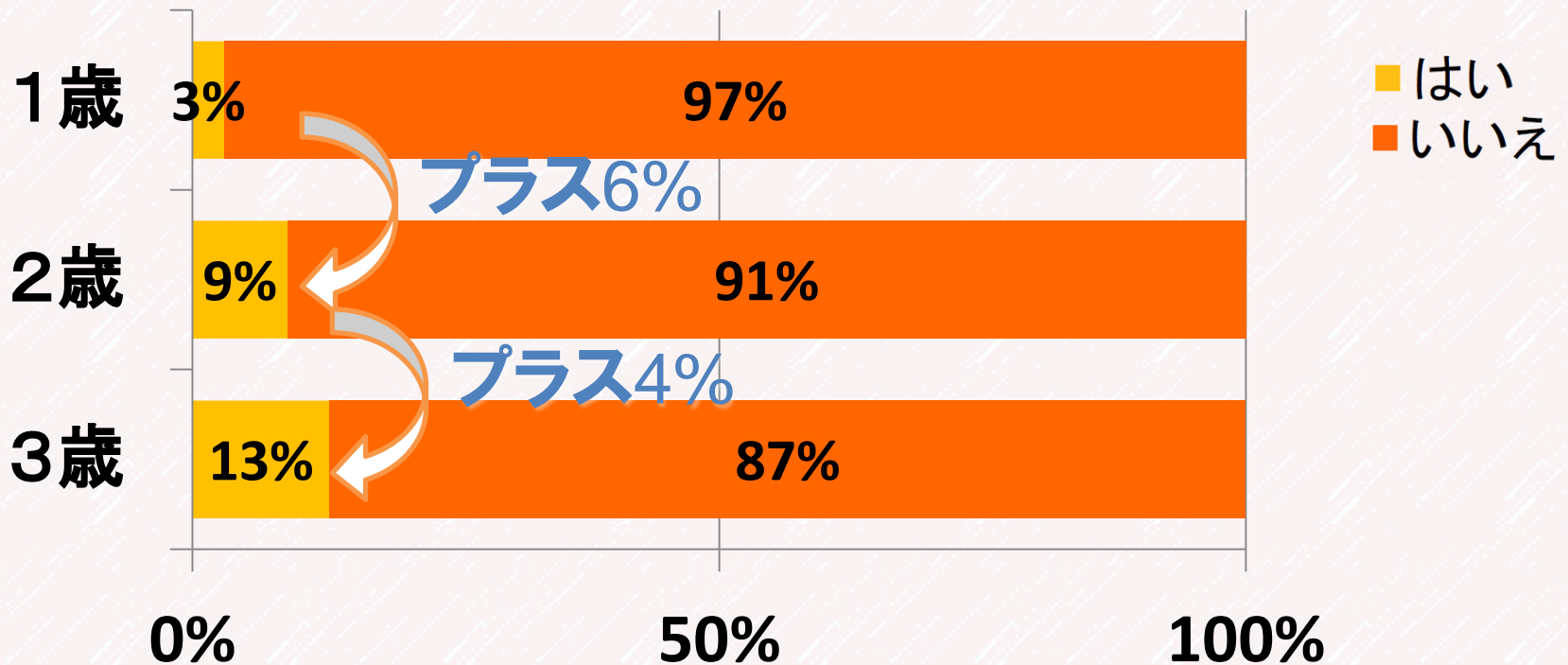


図 縦断調査 と 横断(断面)調査

ぜん息

お子さんは、今までにぜん息になったことがありますか。

※本集計結果の「ぜん息」は、
自記式質問票による回答です。

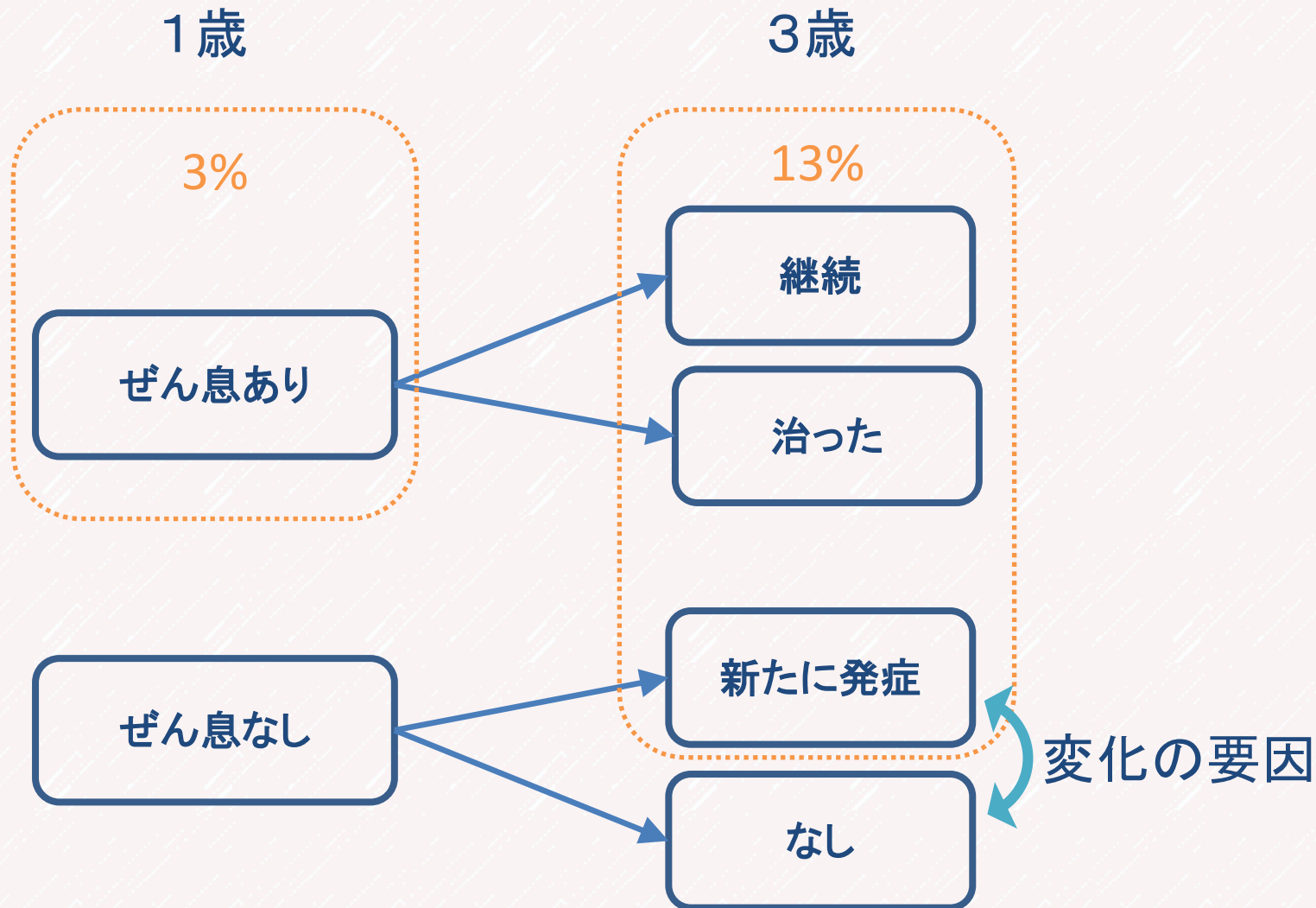


当然ですが、年齢を重ねるごとにぜん息を経験した
お子さんが増えている

※回答数：25963件、無回答：1歳716件、2歳758件、3歳74件

※「ぜん息になったことがある」と回答した以降にないと回答したものは、あるとして集計した。

縦断調査(エコチル調査) は 変化の要因を解明



免疫系の異常は本当に起こっているの？

ぜん息

アトピー性皮膚炎

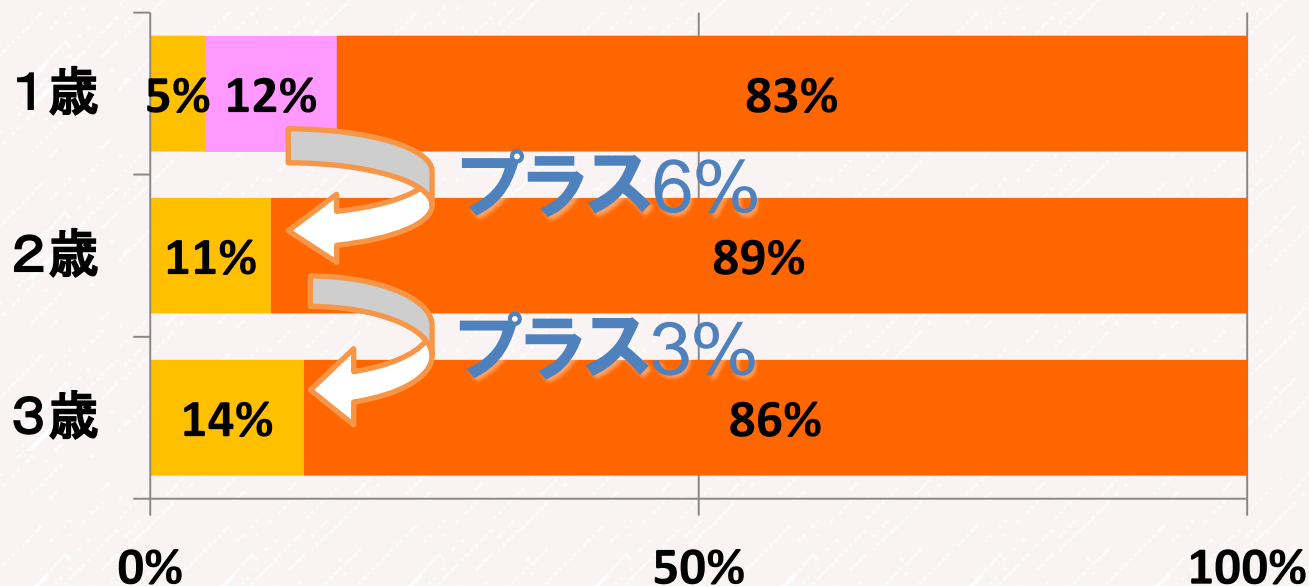
花粉症

アトピー性皮膚炎

質問(1歳) :お子さんはこれまでにアトピー性皮膚炎の湿疹になったことがありますか。

質問(2、3歳) :お子さんは、今までにアトピー性皮膚炎になったことがありますか。

※本集計結果の「アトピー」は、
自記式質問票による回答です。



■ はい

■ アトピーとは言われてないが、
そのような湿疹ができたこと
はある

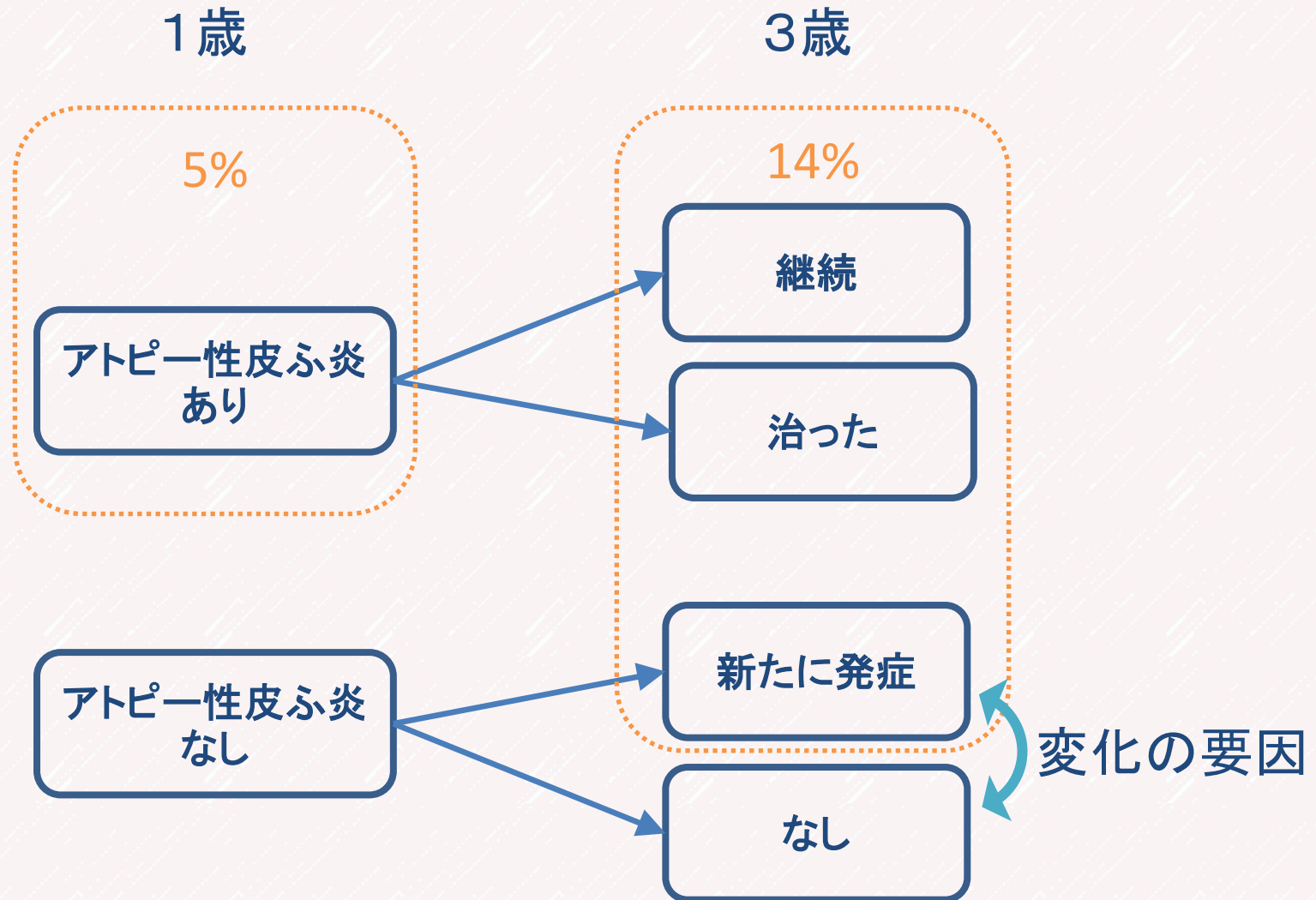
■ いいえ

当然ですが、年齢を重ねるごとにアトピー性皮膚炎を経験したお子さんが増えている

※回答数: 25963件、無回答: 1歳648件、2歳814件、3歳124件

※アトピー性皮膚炎になったことがあると回答した以降にないと回答したものは、あると読み替えて集計した。

縦断調査(エコチル調査) は 変化の要因を説明



免疫系の異常は本当に起こっているの？

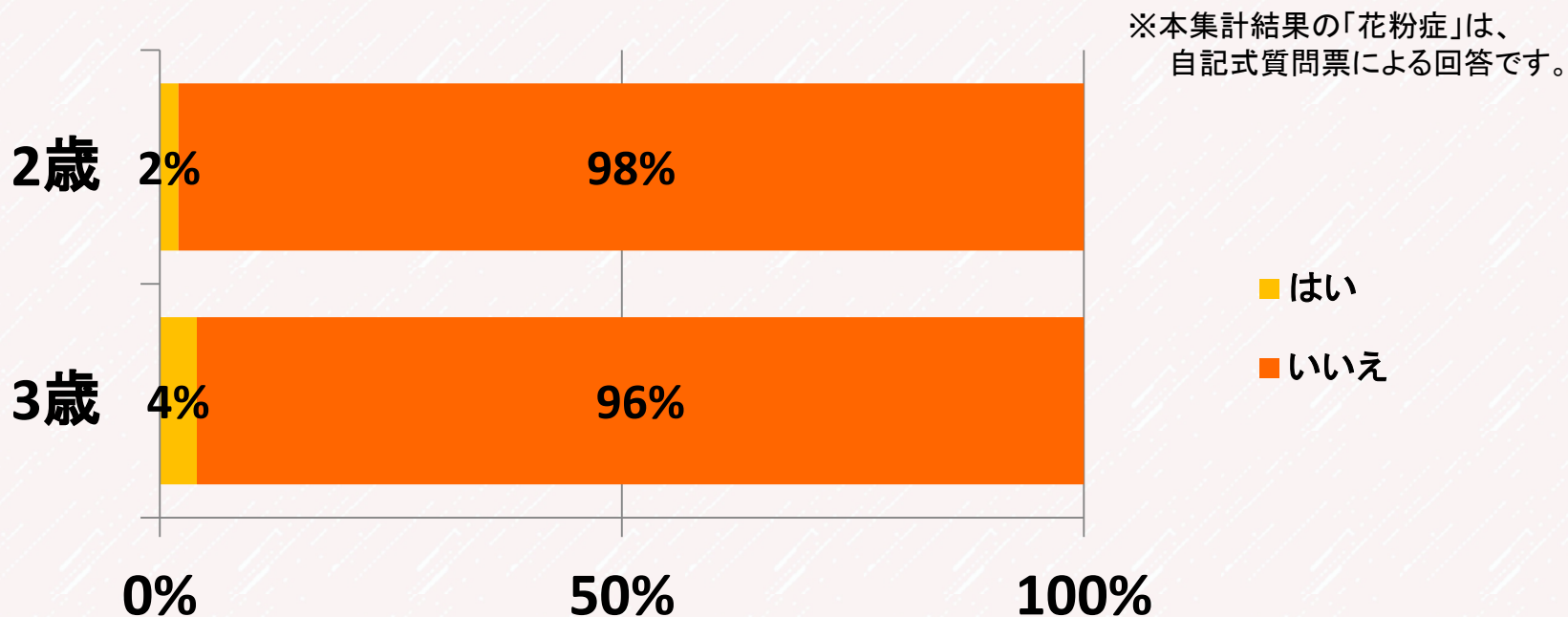
ぜん息

アトピー性皮膚炎

花粉症

花粉症

お子さんは、今までに花粉症になったことがありますか。

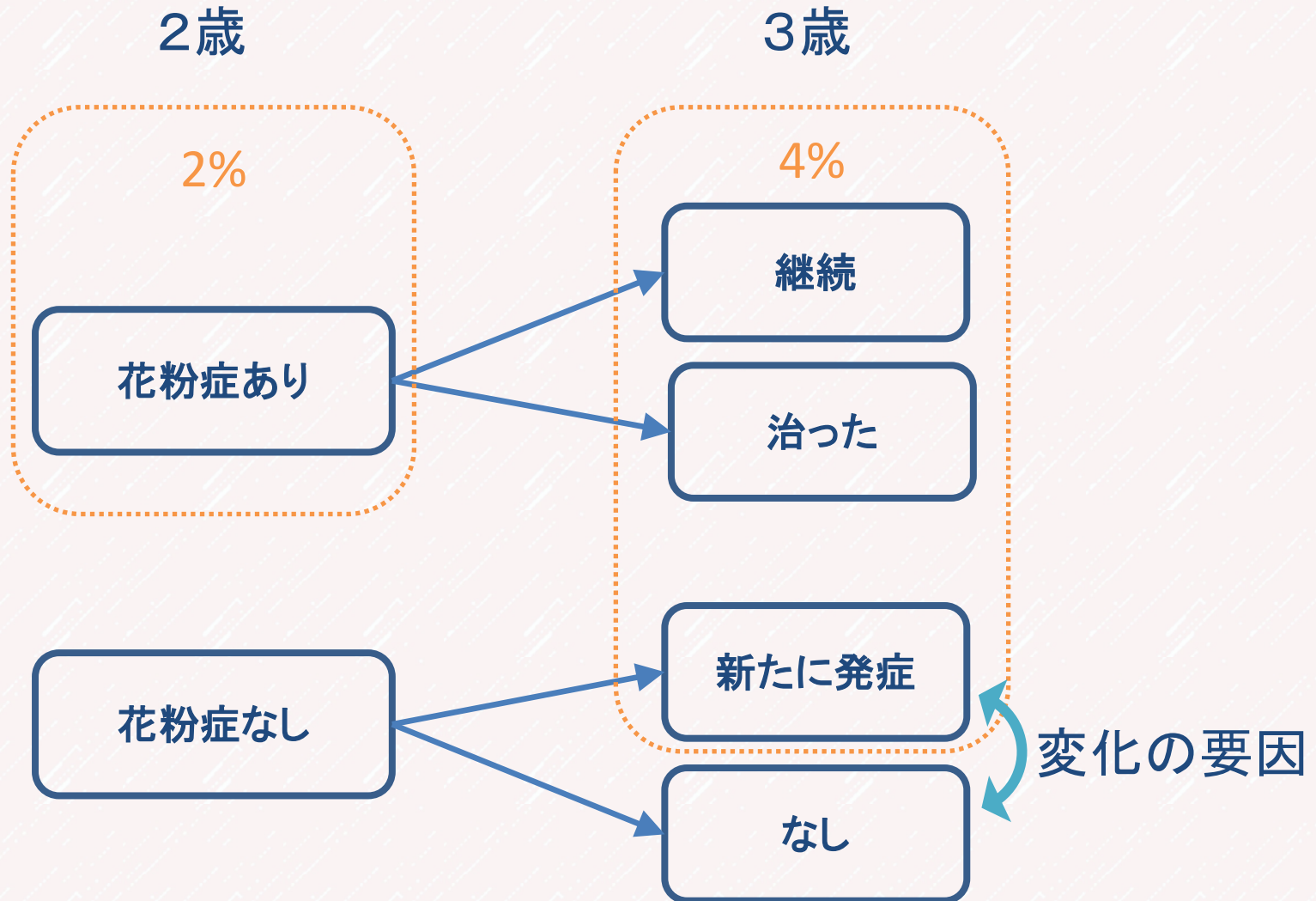


実際に、年齢を重ねるごとに花粉症のお子さんが
増えている

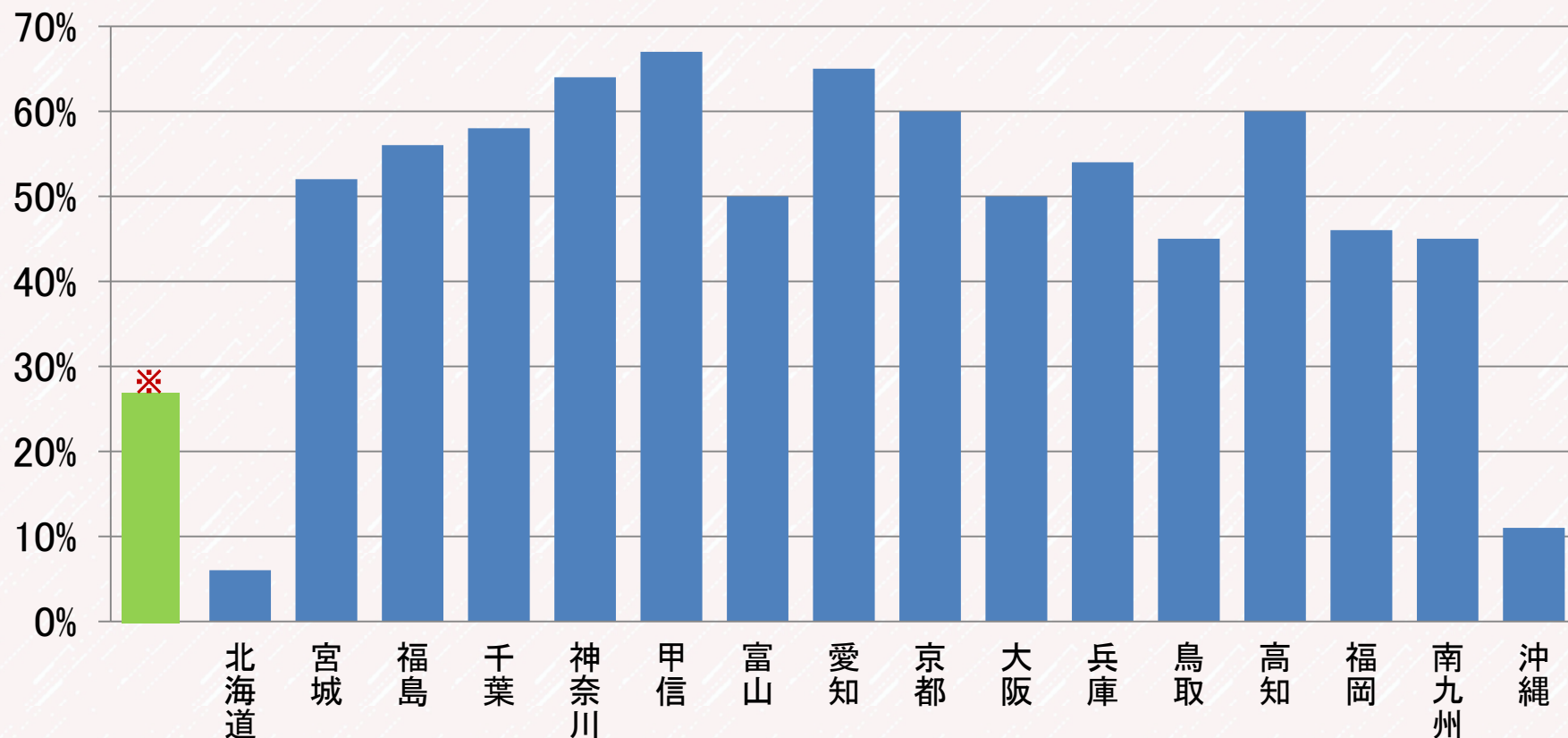
※回答数：25963件、無回答：2歳843件、3歳194件

※「花粉症になったことがある」と回答した以降にないと回答したものは、あるとして集計した。

縦断調査(エコチル調査) は 変化の要因を説明



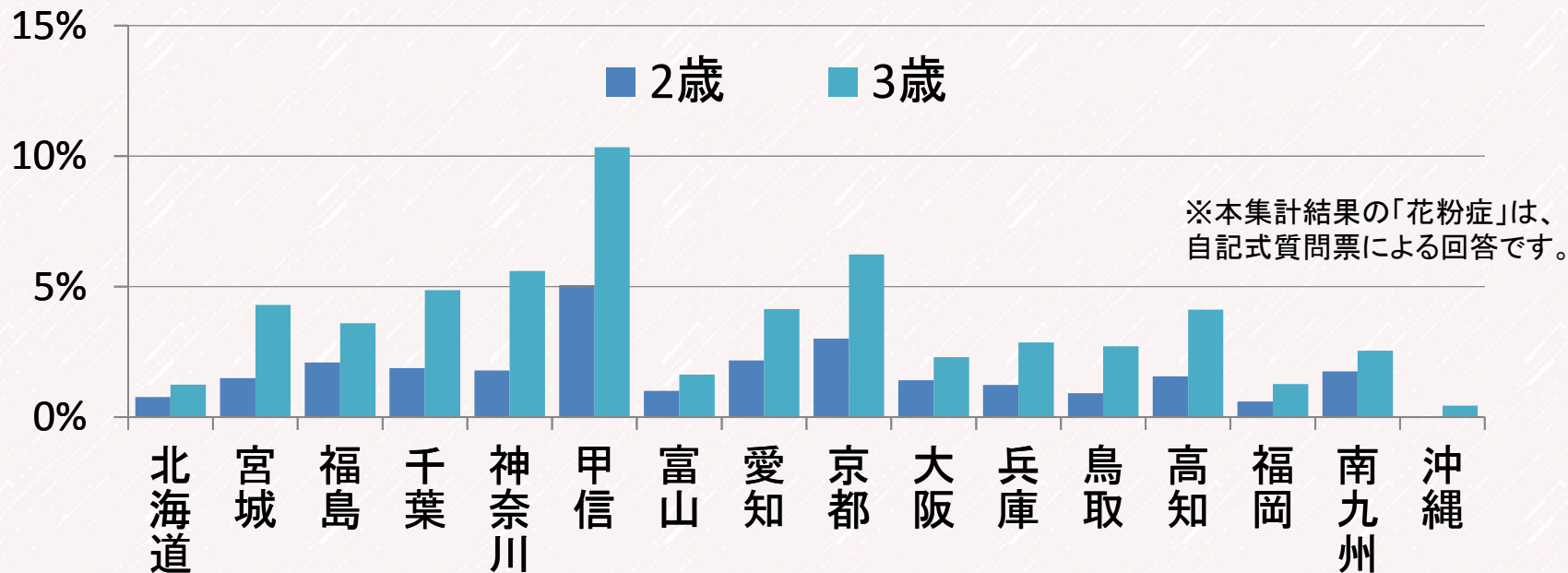
全参加者の内、採血した90,583人の妊婦さんのデータ



※北海道ではシラカンバについても測定

ユニットセンター(サブユニットセンター)

お子さんは、今までに花粉症になったことがありますか



ユニットセンター(サブユニットセンター)

地域によって、花粉症のお子さんの数に差が見られる

回答数：2歳56786件、3歳25963件、無回答：2歳403件、3歳194件

2015年11月20日時点のデータに基づく暫定的な結果です。



様々な仮説

要因

子どもの健康

○化学物質の曝露

ダイオキシン類、PCB

水銀、鉛、ヒ素、カドミウム

内分泌かく乱物質、

農薬など

○遺伝要因

○社会要因

○生活習慣要因

○身体発育

出生時体重低下、等

○先天奇形

尿道下裂、停留精巣、等

○性分化の異常

性比、等

○精神神経発達障害

自閉症、等

○免疫系の異常

小児アレルギー、等

○代謝・内分泌系の異常

耐糖能異常、肥満、等

エコチル調査では、化学物質の曝露による影響を調べる。